

国の政治、 農業改革を めぐる動き

桜井崇裕 議員

①農協改革は、単位農協の経営自由度を高める組織見直しとしているが、農協は地域の重要な役割を担っており、行政としての考えを伺う。

②TPP交渉について、農産物重要品目などの聖域確保を求めた国会決議が守られるのか、今後の反対運動について伺う。

③農地中間管理機構（農地集積バンク）の現状と今後の方向性を伺う。

④地域畜産振興クラスター協議会が設立されたが、計画に位置付けられる地域や経営体となるためにどのような対策を講じるのか伺う。

⑤6次産業化について、研究、情報交換や農産物の加工（例えばアイスクリーム等）ができないか伺う。

⑥農村におけるブロードバンド化は、GPSのトラクターや作業、牛群管理、畑作の肥培管理など多くの要望がある。今後の対応の見込みについて伺う。

高薄町長

①良い時ばかりではなく、困った時に助け合うのが農協であり、果たす役割は大きい。地域にとって、金融や共済等で重要な役割を果たしてきており、大切な一つの事業体であると認識している。

②オール十勝、オール北海道で、歩調を合わせて行動していくことが大切であるが、地域ごとでも結束して運動を展開していかねばならない。

③本町では2戸が貸し手として農地中間管理機構を利用しているが、北海道の多くの農業者は農地の自己所有を望んでおり、それが、農地の基盤整備を遅らせている。その対策として、交換分合を進めていく必要がある。

④農協と協議しながら具体的な事業を進めていき、営農計画に反映させるようしていきたい。

⑤国の助成措置を受けて施設を整備してきたものもあるが、加工する場所や研究する体制が整っていない状況のなかで、常に模索しながら取り組んできている。

⑥国の予算が縮小され、企業が取り組める状況ではない。本町を含めた自治体で、災害危機管理用として国道や河川に入っている光ファイバを利用できないか要望している。無線になると地形の関係で数億円必要であり、関係機関に強く訴えていきたい。



清水町地域畜産振興クラスター協議会設立総会（3月2日）

高校生の 医療費無料化

佐藤幸一 議員

子育て支援策の更なる拡充と移住対策の一環として、高校生までの医療費無料化を図る考えはないかを伺う。

高薄町長

国からの助成措置があれば直ちに組みたい。限られた財源の中で、その部分だけということにはならないので、全体的なバランスの中で考えていきたい。

JR十勝清水駅 跨線橋対策

佐藤幸一 議員

JR十勝清水駅の跨線橋対策は、高齢者の皆さんの切実な願いであり、一日も早くその実現が望まれる。

昨年12月の定例会でも

質問したが、その後のJR北海道との協議内容と今後の見通しについて伺う。

高薄町長

JR北海道から、エレベーターを設置した場合の見積書が提出された。

エレベーターを2基設置した場合、税抜きで1億6千万円、エレベーターまで行く通路に屋根をつけて舗装するとすると、消費税を含めて約2億円になると見込まれる。

3千人未満の乗降客の駅で国の補助を受けずにエレベーターを設置した例はない。国の補助制度の改正を求めても相当時間がかかる問題であるので、他の対策や方法（路線バスの復活など）を検討したい。

交流人口 拡大支援事業

奥秋康子 議員

スポーツツーリズム協

会は、平成29年度には大会選手、観客など60万人、延べ宿泊者数1万2千人、経済効果2億円を目指すとして事業を開始した。

①予定どおり事業が進まなかったことに対しての見解は。

②協会から提出された補助金申請書、基本計画は公式な文書である。誤記入、誤表示というレベルのものではないと感じる。事実上即していないことを強調したい。補助金適正化法上心配はないか。

③この事業を実施するにあたり、適格性などの判断が不十分のままNPO法人に補助をしたと考えられる。善良なる管理者の注意義務の定めについて見解を伺う。

高薄町長

①会員各位の試行錯誤の中、鋭意努力をしたと思うが、目的達成にはなかなか至らなかったことは、非常に残念。

高金産業振興課参事

②協会の中で監査を受け